

交差点、“左折”のトラックにひかれ 自転車の中2男子死亡

2015年07月21日 11時00分

19日午前7時40分頃、群馬県の交差点で、自転車で横断中の、中学2年の男子生徒(13)が左折してきた大型トラックにひかれ、骨盤骨折などで病院に搬送されたが20日夜、死亡した。警察は大型トラックを運転していた、会社員の男性容疑者(49)を自動車運転死傷行為処罰法違反(過失運転致傷)の疑いで現行犯逮捕し、容疑を過失運転致死に切り替えて調べている。発表によると、現場の交差点は信号機と横断歩道、自転車横断帯がある。

追突事故の多くが、低速追従時の安心感と油断からくる、“車間不足”と“注意力不足”

「慣れ」、「過信」に注意！ <“だいじょうぶだろう”は厳禁>

交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点、右折の大型トラック 直進車と衝突、1人死亡

2015年07月22日 11:14

22日午前8時前、交差点を右折しようとした大型トラックと対向車線を走ってきた軽乗用車が衝突しました。この事故で軽乗用車を運転していた僧侶の男性(55)が病院に運ばれましたが、間もなく死亡が確認されました。トラックの運転手にけがはありませんでした。

大型トラックが、「かなりのスピード」で、乗用車に突っ込む 玉突き事故、追突された乗用車の男性死亡

2015/07/24 14:10

24日午前10時半、静岡県東名高速で、大型トラックが乗用車に追突し、他の車3台に次々とぶつかる玉突き事故があった。乗用車を運転していた男性1人が死亡、トラックの運転手ら3人が軽いけが。高速隊によると、現場は片側2車線の直線で、事故は左側の走行車線で起きた。トラックがかなりのスピードで突っ込んだ可能性があるとみて、同隊が詳しい状況を調べている。トラックの運転手が前方不注意だった疑いもある。追突された乗用車は前方の車両に衝突後、下に潜り込んで大破していた。

交差点付近、トラックが軽乗用車に追突

車6台がからむ玉突き事故で3人負傷

トラックに追突された車は、“原形をとどめない”ほど押しつぶされる

2015年7月23日(木)17時23分

23日午前5時ごろ、埼玉県の国道の交差点付近で、トラックが前を走行中の軽乗用車に追突し、あわせて6台がからむ玉突き事故が発生した。トラックに追突されて、ペしゃんこに曲がった軽乗用車。原形をとどめないほど押しつぶされ、車の後部はタイヤが残るだけの惨状になっていた。この軽乗用車を運転していた40代の男性は病院に搬送され、骨折したとみられ重傷だが、命に別条はないという。

小樽の国道5号、はみ出し、正面衝突、3人が重傷

2015/07/25 01:30

【小樽】24日午後5時ごろ、小樽市桃内1丁目の国道5号で、滋賀県の会社員の男性(47)のワゴン車と、神奈川県無職の男性(66)のワゴン車が正面衝突した。小樽署によると、滋賀県の男性と長女(10)、神奈川県の男性の娘(39)の長男(11)の計3人が腹部を強く打つなどの重傷、7人が軽いけが。

“砂川の悲劇”後も絶えず 飲酒運転、北海道内の摘発133件

2015/07/24 06:40

砂川市の国道で6月、酒気帯び運転の車が衝突するなどして家族4人が死亡、1人が重体となった事故後も、飲酒運転が道内で後を絶たず、23日には砂川市議の男性容疑者(64)が道交法違反(酒気帯び運転など)容疑で逮捕された。事故が発生した6月6日から今月22日までの47日間に、道警が検問などで摘発した飲酒運転は133件と、前年の同時期から40件増えた。道警による取り締まり強化の効果もあるが、一部の悪質ドライバーの存在や、飲酒に寛容な道民性なども背景に浮かぶ。道警は砂川市の事故後、国道などを中心に夜間の検問回数や場所を増やしている。砂川市議の逮捕はそんな中で起きた。道警幹部は「飲酒運転を許さない意識は着実に広がっているはずだが、一部の悪質なドライバーには浸透していない」とみている。道内で昨年、飲酒運転による人身事故は186件発生し、このうち死者は19人と全国最悪だった。